

(3) 北 関 東



北関東地域では、景気は持ち直しの動きが続いている。

- ・ 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 個人消費はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 雇用情勢は依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている。

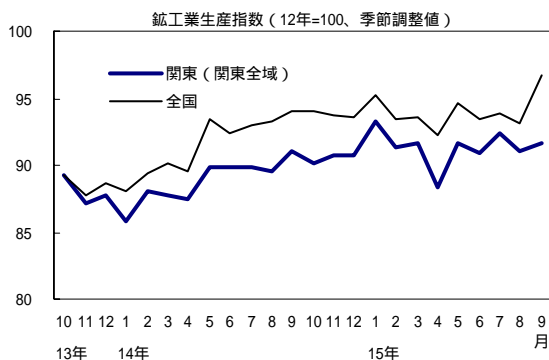
前回調査からの主要変更点

	前回（平成 15 年 8 月）	今回（平成 15 年 11 月）	
雇用情勢	持ち直しの動きが緩やかになっており、依然として厳しい	依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。（関東全域）

一般機械は、9月に韓国、台湾向けのフラットパネル・ディスプレイ製造装置、デジタル民生機器用の半導体製造装置が増加したことにより、前期比で増加に転じた。化学は、内需ではIT関連、自動車関連の需要が引き続き堅調であり、外需ではアジア向け輸出も好調であるが、定期修理等の影響で引き続き減少した。輸送機械は、北米向け輸出が減少しているが、内需では乗用車が新型車投入効果により増加し、トラックが排ガス規制による買い替え需要で引き続き堅調であったため、増加に転じた。情報通信機械は、7月に携帯電話向けの部品が増加したこともあり、引き続き高水準で推移し、前期比ではやや増加した。電気機械は、9月に蓄電池などスポット的な受注生産があったが、前期に比べるとやや減少した。



（備考）平成 15 年 9 月の関東は速報値。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期比増減率) (%)

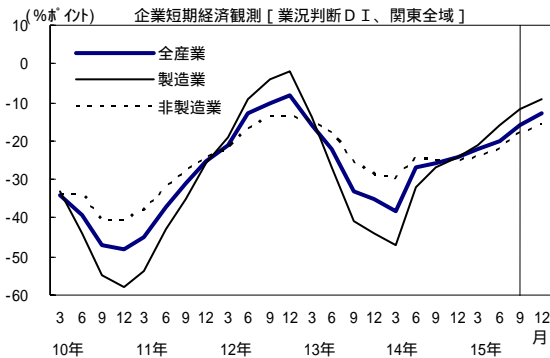
	付加価値 ウェイト	生産		出荷	在庫
		4～6 月期	7～9 月期	7～9 月期	7～9 月期
一般機械	13.8	3.2	6.6	3.8	0.1
化学	13.7	2.7	1.4	0.1	0.8
輸送機械	11.3	4.4	5.0	2.4	9.4
情報通信機械	8.6	1.8	1.0	5.0	14.4
電気機械	7.9	2.0	0.2	0.7	0.9
鉱工業	100.0	2.0	1.6	1.7	0.7

（備考）1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。

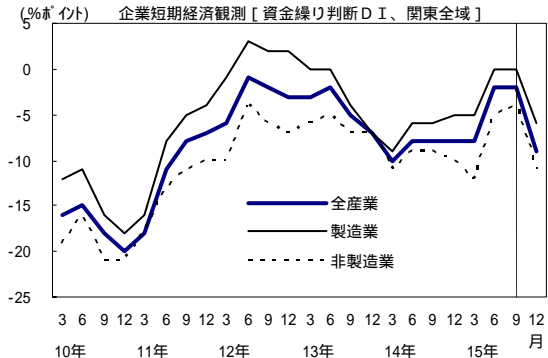
2. 7～9月期は速報値。

3. 7～9月期の化学の生産、出荷については、7月、8月
確報値の平均より算出。在庫については、8月確報値。

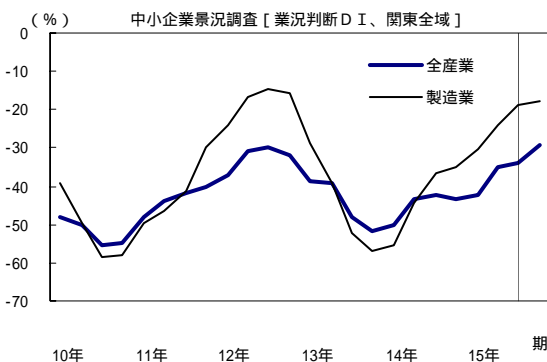
(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「苦しい」超幅が横ばいとなっている。
企業短期経済観測調査 [業況判断D I、資金繰り判断D I] 及び中小企業景況調査 [業況判断D I]



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。15年12月は予測。



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。15年12月は予測。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。15年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査 (10月調査) [企業動向関連 (現状判断)]

「一部の製造業でカーナビ、DVD等を中心とした受注が増加傾向にあり、増産体制に入っている (金融業) など、「やや良くなっている」とする回答が多くみられた一方で、「受注、採算の悪化に歯止めがかかっていない (建設業)」など、「変わらない」とする回答もみられた。

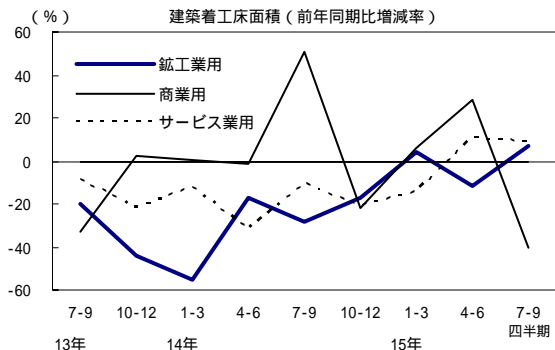
(3) 設備投資の15年度計画は前年度実績とほぼ同水準になっている。

企業短期経済観測調査 [設備投資 (9月調査、関東全域)]

(前年度比増減率、単位: %)

	14年度実績	15年度計画
全産業	3.3	0.3(2.1)
製造業	13.9	2.4(1.5)
非製造業	2.1	0.1(2.5)

(備考) () は前回 (6月) 調査比修正率。



(3) 北関東

2. 需要の動向

(1) 個人消費はおおむね横ばいとなっている。

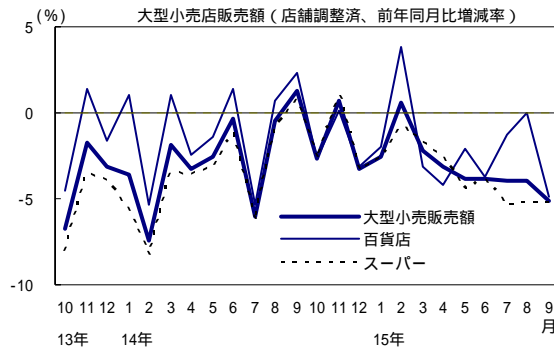
大型小売店販売額及び乗用車新規登録・届出台数

百貨店は、7月は、衣料品が5か月ぶりにわずかではあるが前年を上回り、身の回り品もほぼ前年並みとなるなど、やや持ち直した。8月に入っても、衣料品が好調であり、身の回り品も前年を上回るなど、全体でも前年並みとなった。9月は、残暑の影響により秋物衣料が不振となるなど、全体としても低調に推移した。

スーパーは、主力の飲食料品が天候不順による季節商材の不振等から前年を下回った。ただし、全店ベースでは、前年を上回り続けている。

景気ウォッチャー調査(10月調査)[家計動向関連D I (現状判断)]

「地元の各地で祭典や運動会が開催されているが、客はその日だけということが多い。地方ではまだ消費は控えられている(一般小売店[精肉])」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。



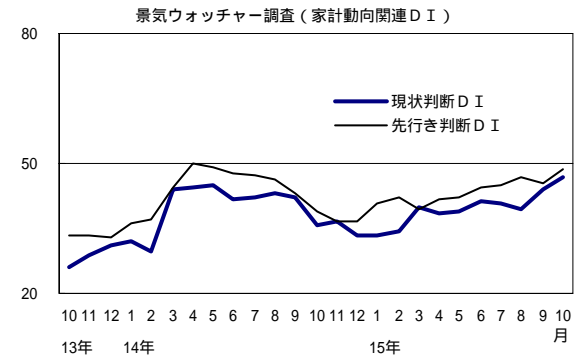
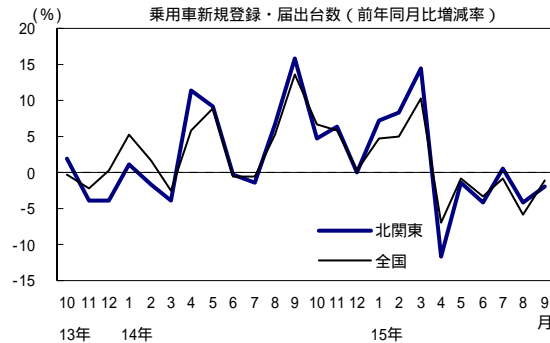
(前年同期比増減率、単位：%)

	14年10-12月	15年1-3月	4-6月	7-9月
大型小売店	1.9	1.5	3.5	
百貨店	2.0	0.8	3.4	
スーパー	1.8	1.8	3.6	
乗用車	3.7	10.9	5.7	1.6
景気ウォッチャー	35.3	35.9	39.6	41.3

(備考) 1. 大型小売店販売額は店舗調整済。

15年7-9月期は未公表。

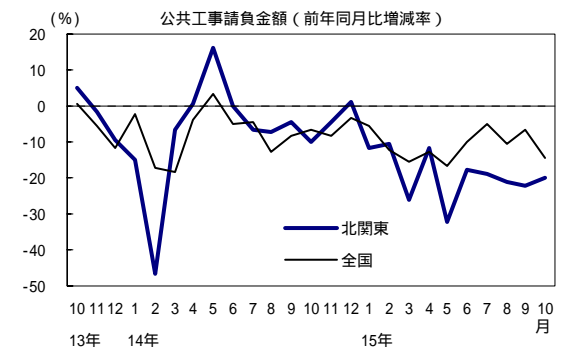
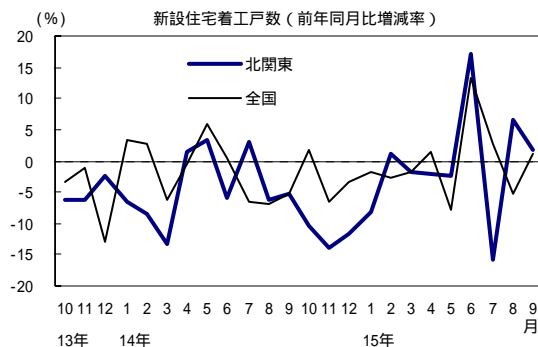
2. 景気ウォッチャー調査の数値は家計動向関連の現状判断D Iの3か月単純平均。



(2) 住宅建設はおおむね横ばいとなっている。

貸家が前年を下回ったものの、持家、分譲が前年を上回ったことから、全体ではおおむね横ばいとなっている。

(3) 公共投資は年度累計で見ると前年を下回っている。

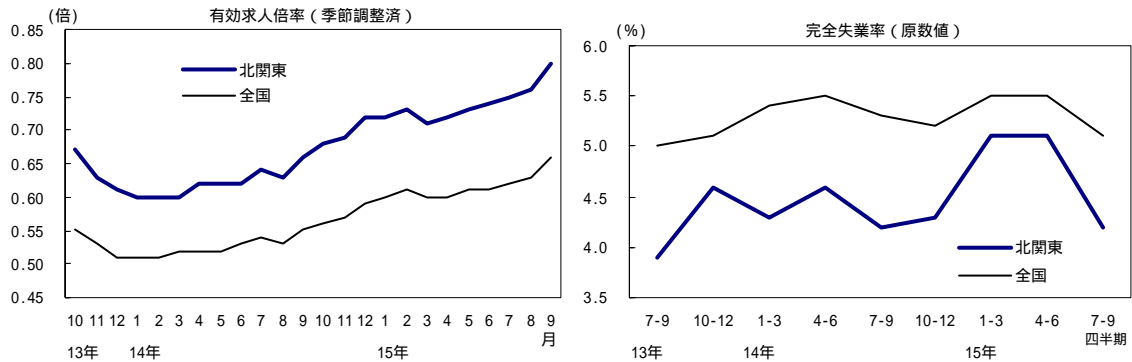


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期と同水準にある。



景気ウォッチャー調査 (10月調査) [雇用関連 (現状判断)]

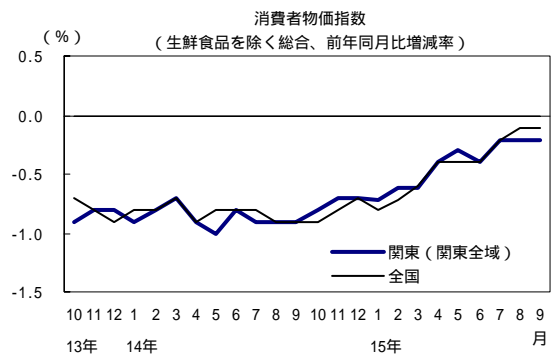
「求人全体で見ると大きな変化はないが、大手企業を中心にデジタルカメラ、液晶が拡大し、関連企業にも効果が出て、製造業の求人は増加している (民間職業紹介機関)」など、「やや良くなっている」とする回答が多くみられた。

(2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに減少している。

(3) 消費者物価指数は下落幅が縮小している。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	14年10-12月	15年1-3月	4-6月	7-9月	15年10月
倒産件数	238	231	254	170	66
(前年比)	20.4	8.7	2.0	30.9	34.0
負債総額	1,402	775	2,178	818	228
(前年比)	25.6	60.8	83.8	22.3	53.3



景気ウォッチャー調査 (10月調査) [合計DI (特徴的な判断理由)]

<現状>

- 有名ブランドやハンドメイド品など、12万円以上の紳士用スーツの売行きが非常に良くなっている (百貨店)

<先行き>

- 大型ショッピングセンターのグランドオープンが12月初旬に決定し、雇用はかなり増加している。数か月前と比べ、求人広告が非常に増加している (求人情報誌製作会社)

